

#ゼミを語ろう

●京都大学法学部 曾我部真裕ゼミ(憲法)

将来を担う法学徒の“息継ぎする空間”

活動内容

曾我部ゼミは毎週金曜5限に開かれ、その構成員は3回生・4回生・留学生と多様です。原則通年参加であり、具体的な活動形式は前期と後期とで異なります。

前期は、先生が用意してくださった予習ペーパーをもとに進行します。予習ペーパーには複数の裁判例・判例や文献をもとにいくつかの問いが定められており、それらの問い全てに答えるためには丹念に予習することが必要不可欠です。この予習によって判例一文一文の論理の流れを正確に読み取る力をつけられますし、先生との熱い問答によって自らの理解度を整理できます。最後には取りあげられた分野に関する時事問題を用いたディスカッションの時間があり、現代社会の問題を、ゼミ生の多様な価値観に触れつつ、憲法学的な視座から見つめることができます。

後期は、複数人の班による発表をもとに進行します。発表の内容は自由に決めることができ、今年度は、「外国人の不就学問題」や「フェイクニュース規制」、「同性婚訴訟の行方」といった先端的な問題が取り上げられました。約45分間の発表ののち、発表を聞いたゼミ生が数人ずつ集まって意見や質問を出し合い、その後全体にて担当の班がそれらに順次答えるという形式で議論が進みます。発表は班ごとに工夫を凝らしたものが多く、動画を作って問題点を説明していた発表が特に印象に残っています。このように、後期の活動では自主的に憲法問題を探求する力がつき、前期で培った、判例を理解

する力が活かされます。先生は理解しづらい問題の説明や、論点の提示・修正など、議論が円滑に進むようサポートに徹してくださります。

なお、前後期ともに、学期末には期末レポートの提出があります。前期は自身の関心ある憲法問題が、後期は班での発表内容が題材です。

このように、曾我部ゼミでは憲法漬けの1年間が過ごせるほか、現代社会に視点を向け、教科書を越えた活動ができることが魅力です。

#メインイベント

本ゼミには数多くの課外イベントがあります。先生は課外活動に力を入れていらっしゃいますし、また、ゼミ生の多くが課外活動を楽しみに入ったといっても過言ではありません。

例年であれば、前期には、大阪見学、縦割り合同ゼミがあります。大阪見学では、大阪地裁で裁判を傍聴したり、弁護士の方にお話を聞いたりします。縦割り合同ゼミでは、現役ゼミ生がゼミOB・OGの4回生や法科大学院生とグループを組み、憲法の事例課題を検討し発表します。後期には、東京見学、他大学との合同ゼミを行います。東京見学では、国会や最高裁判所の見学、国会議員の事務所、法律事務所、企業への訪問を行います。

これらのイベントを通じてゼミ生は、憲法への理解を深めるだけでなく、社会の動向についても勉強します。

2020年度は、COVID-19の感染拡大の影響で、大阪および東京への見学や他大学との合同ゼミが中止となりました。その代わりとして、ほぼ毎回のゼミの後に、ゼミOBや社会人の

方々のお話をオンラインで聞く機会を先生が設けてくださいました。そのため、今年度はむしろ多くの方々のお話を聞くことができました。毎回の講演は大変勉強になりましたし、キャリアの展望を明瞭にすることができたように思います。

先生のキャラクター

先述の通り、本ゼミの学生は、現代社会における様々な問題について憲法学的視点に立って考察をしていきますが、その中で先生は、多くの参考文献・資料を示して解説をしてくださり、また適宜問題提起をしてくださるなどして、学生同士の議論をサポートしてくださいます。個人的には、インターネット上の誹謗中傷が議題となった回で、現行の発信者情報開示制度の概要について先生がお話ししてくださり、そのおかげでよりすなりと議論に入ることができた点が印象に残っています。

曾我部先生を語る上で特筆すべきなのが、人脈の広さと面倒見の良さです。前項で紹介した数々のイベントは、様々な方と積極的に交流なさる先生ならではのものです。また、ゼミ生一人ひとりの進路についても、必要に応じてOB・OGの方と個別に面談する機会を設けてくださるなどして、とても親身になって考えてくださいます。

同じゼミ生に向けて、「先生のお人柄がわかるエピソード」についてひとたび呼びかけてみると、「オンライン会話でマイクをオンにし忘れて話し続けたことがある」「けっこう子煩悩」「若い頃の写真がイケメンだった」などの微笑ましい(?)お話がすぐさま集まり、先生の人望の厚さを改めて感じることができます。また、執筆者の独断と偏見にはなりますが、先生はかなりの猫派だと思います(笑)。

後輩(読者)に向けて

曾我部先生曰く、「せっかく1年間をゼミで過ごすのだから、いい1年だったと思ってもらいたい」とのこと。その思いのもと、様々な機会を設けてくださるので、タテ(ゼミ生と曾我部先生)・ヨコ(ゼミ生同士)・ナナメ(ゼミ生とゼミOB・OG、社会人の方)との関わりの中で、憲法について学習を深め、教科書のその先、社会への見識を広げることができます。

ゼミでの1年間を振り返ると、憲法の知見、社会の実相を踏まえて立体的に物事を見ることができるようになったように思え、ゼミで過ごす時間の貴重さを実感します。これからゼミに入るという方は、魅力的なゼミが多々あると思いますが、その中でも曾我部ゼミを選んでみてはいかがでしょうか。お待ちしております。

(文責：石井勝哉=大塚直人=小西和也=紺田雄平)



オンラインによるゼミの様子

ゼミメンバー

3 回生

石井勝哉
大塚直人
角元那菜
河村和賀子
小西和也
紺田雄平
芝池亮弥
葛浦隆行
高見沙英
橋本泰樹
前田実来
前多 陸
前山智耶

溝 梨紗子
山口祐輔

4 回生

谷垣柚乃
吉田知代

修士 1 回生

陳 徳穎

研究生

周 牧笛
陳 弋戈
潘 敬莹

記事掲載のご希望と
お問い合わせは
編集部 e-mail アドレス
housemi@nippyo.co.jp まで